（作成者：クリニカルパス専門部会）

RB療法を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／ 治療前日	2病日 ／ 治療1日目	3病日 ／ 治療2日目	4病日 ／ 治療3日目	5病日 ／ 治療4日目	6病日 ／ 治療5日目	7病日 ／ 治療6日目	8病日：退院 ／ 治療7日目	【退院後の生活について】
達成目標	・治療について理解できる	・嘔吐がない ・便秘がない ・副作用（発熱、嘔気・嘔吐、食欲不振、便秘・下痢、口内炎、骨髄抑制）について理解できる ・症状出現時は医療者に伝えることができる					・退院指導の内容を理解できる		・処方されている薬は医師の指示通りに内服してください ・治療で体力が低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心掛けてください。また、下肢の筋力も低下していますので、歩行時はゆっくり動き、転倒に注意してください ・治療の影響で免疫力が低下しています。風邪などをひきやすい状態ですので、外出時にはマスクの着用し、帰宅後は手洗い・うがいを行ってください 以下の症状がある時はご連絡ください ・37.5度以上の発熱 ・風邪症状 ・食事や水分が摂れない ・息苦しい 【緊急連絡先】 ・診療日時間内（8：30～17：00） 内科外来 ：0985-85-9883 ・休診日・診療日時間外 5階東病棟 ：0985-85-1789
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します				・ステロイドを内服します（2日間）				
注射		・点滴をします		・治療後は点滴を抜きます					
検査	・身長・体重測定	・体重測定（毎日）							
処置		・心電図、酸素飽和度モニターをつけ、治療終了後に外します							
食事	・制限はありません								
活動・安静	・制限はありません	・点滴中は安静にお過ごしください			・制限はありません				
清潔	・シャワー浴ができます	・シャワー浴は治療前までにお済ませください			・制限はありません				
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療（薬剤）の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・がん薬物療法オリエンテーションを行います ・感染予防、転倒転落予防について説明します						・「がん薬物療法を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します	・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡しください	・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください						・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います	
		・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください							
		・嘔気や下痢などの症状があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・37.5℃以上の発熱を認めた時には抗菌薬の投与を行いますので、すぐにお知らせください ・食欲不振時には管理栄養士と相談しながら食べやすい食事を提供しますので、お知らせください							

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2026年8月承認
2026年11月更新